

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた主な対応

令和7年10月6日
教育課程部会
理科ワーキンググループ
参考資料6-2

主な課題

- ・各教科での**基本的概念の理解・定着**が不十分（**中数**の正答率はR1以降最低）【R7悉皆】
- ・**小国・小算・中国・中英**における有意な**スコア低下**（特にSESが低い層の方がスコア低下が大）【R6経年】
- ・**授業の内容が「よく分かる」**児童生徒の割合が全教科で減少 【R7悉皆】
- ・**スマートフォン・テレビゲーム等の使用時間**が増加、**家庭における学習時間**が減少 【R6経年】

学習指導要領改訂への反映等

- ・分析結果等を**次期学習指導要領に向けた検討**に反映（秋ごろ～ 中教審における教科別の検討）
 - ✓ 大学等の研究機関による**高度な追加分析**（R6経年）を実施（～年度内）
 - ✓ 児童生徒等の基本的な**生活習慣**（スマートフォンの使用を含む）**に関する調査研究**を実施（～年度内）

改訂を待たず取り組むべき施策や事業展開

(1)教科横断的な取組

①学習指導関係

- ・全国学力・学習状況調査について、SESが低い層の学習状況等の**さらなる分析結果**を秋頃目途に提供予定
- ・今回明らかになった課題の解決に資する**デジタル技術の活用方法**についてホームページで発信（コンテンツの追加・更新）
- ・児童生徒自身の興味・関心に沿って利用できる**学習コンテンツ**について周知（「たのしくまなび隊」等）

②生活習慣関係

- ・ **こども家庭庁**をはじめとした関係省庁と連携し、利用時間に関する「親子のルールづくり」の推奨など、青少年の**インターネットの適切な利用に関する教育・啓発**活動を推進
- ・ **情報機器の長時間利用の防止**を含む、**教師向け**の情報モラル教育**オンラインセミナー**を開催（9月以降）

(2)各教科における取組

※夏期休業期間中も、各**教科調査官・学力調査官**らが、全国の教育委員会・学校に対し、調査の結果明らかになった課題も踏まえた**指導助言**を実施

①算数・数学

- ・ **基本的概念の定着**や個別最適な**家庭学習**に関する効果的実践を紹介する大規模な**オンライン教員セミナー**を開催（9月～冬休みにかけて複数回実施）
- ・ 「**理数好き**な児童・生徒を育てる探究学習推進プラン」**事業**において、**基本的概念定着のための指導法開発**に関する**メニューを拡充**（R7概算要求）

②英語

- ・ 生成**AIを活用した英語教育の実証事業**（R7：約300校）の**成功事例を普及する**大規模な**オンラインセミナー**を実施（11月頃）
- ・ **第二言語習得**や**学習科学**の研究による知見に基づいた**実践的英語指導法**を学ぶ**オンラインセミナー**を開催（**動機付け**や**学習内容の定着**、**小中連携**に関する内容を含む）（9月～冬休みにかけて複数回実施）

③国語

- ・ **認知心理学**の知見等に基づいた**読解力や記述力の向上**に関する大規模な**オンライン教員セミナー**を開催（9月～冬休みにかけて複数回実施）

→教育課程企画特別部会における論点整理後、その方向性も踏まえつつ、**現行の学習指導要領下においても着手可能な取組**等について通知の発出を検討。